

教 育 長 報 告

2004年(平成16年)4月16日

文 教 常 任 委 員 会 日 程

日時 平成16年3月5日(金)

午前9時30分

場所 議会委員会室

- 1 陳情15第69号 教育基本法の早期改正を求める意見書提出についての
陳情

- 2 陳情15第86号 35人以下学級の早期実現を求める陳情

- 3 報 告(1) 教科用図書採択地区の変更(単独化)について

(2) ふじさわスポーツ元気プラン実施計画(案)の策定につ
いて



文教常任委員会



教育基本法の早期改正を求める意見書提出についての陳情

1. 陳情の要旨

藤沢市議会として、教育基本法の早期改正を求める意見書を、政府に提出すること。

2. 陳情の理由

教育基本法は昭和22年の制定以来、一度の改正もなく戦後半世紀以上が経過しました。

しかしながらこの間、日本社会は大きく変化し、教育の荒廃は年々深刻さを増しています。道徳観・倫理観の退廃、学習意欲の低下、学級崩壊、不登校、青少年の凶悪犯罪の増加、家庭や地域社会での教育力の低下など、今日教育改革は国民的課題となっています。

こうした中、中央教育審議会は昨年3月文部科学大臣に対して「新しい時代にふさわしい教育基本法と教育振興基本計画の在り方について」を答申し、教育基本法の改正を提唱しました。

将来を担う青少年の健全育成、国際社会でも活躍できる日本国民の育成等、教育理念の根本的見直しとなる教育基本法の一刻も早い改正が切に望まれます。

つきましては藤沢市議会として政府に対し、早急に改正案を国会に提出し一切のタブーを排して徹底論議を行い、教育基本法の早期改正を実現するよう意見書を提出していただきますようお願い申し上げます。

平成16年 2月 16日

藤沢市の教育を考える市民の会

代表 愛甲 茂

藤沢市大庭 5683-2 駒寄 11-103



藤沢市議会議長
国松 誠 殿

文教常任委員会



35人以下学級の早期実現を求める陳情

陳情趣旨

私たち市民の切実な願いである少人数学級は、現在、29道県が実施に踏み出し、効果をあげていることが報告されています。

神奈川県でも、今年4月から要望するすべての公立小学校の一年生で、学級規模を「40人」から「35人」に小さくすることが可能になりました。

幼稚園や保育園を卒園して小学校に入学するとき、子どもたちにも父母にもさまざまなとまどいや不安があるものです。私たちは、子どもたち一人ひとりが、きめ細かく行き届いた教育を受け、基礎的学力と情操を養い豊かな人間に成長するために、学級規模を少人数にして、ゆとりと落ち着きのある教育環境が保障されることを、心より願って30人学級の実現をめざし運動しています。

以上の趣旨により、藤沢市の施策で30人学級をめざし、当面35人学級を早急に実施していただきたく陳情いたします。

陳情項目

1、市内の子どもたちがゆとりある、行き届いた教育を受けられるよう、当面「~~35人以下学級~~」をすぐに実施してください。

「小学校1年生で35人以下学級」(1/2 陳情訂正)

藤沢市議会 議長

国松 誠 様

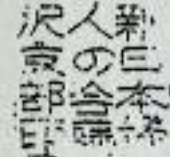
2004年3月1日

新日本婦人の会 藤沢支部

支部長 渡辺 慈子

藤沢市藤沢1049 大矢ビル2F

TEL 26-1980



平成16年2月藤沢市議会定例会代表質問一覧表

質問者氏名	件 名	要 旨	細 目
増井秀夫	6 教育課題への対応について	・ 学校運営について	2学期制の導入に際し、教育委員会としてはどのような姿勢で臨もうと考えているか。 2学期制を生かした学習指導と評価のあり方について、どう考えるか。 本市の学校評価システムはどのようなものにするのか。
		・ 心の教育について	「心の教育」の実践プログラムについて 子どもの心を育てる読書環境充実について スクールカウンセラーの効果と配置について スクーリング・サポート・ネットワークの充実について
		・ 子供の「居場所」づくりについて	国の事業も活用し、子どもの健やかな成長を図るため、安全で安心な子どもの居場所を更に充実、整備することについてどのように考えているか。
古橋宏造	3 教育行政について	・ 教育を取り巻く環境について	学校教育ふじさわビジョンについて ア 作成時における現状認識と目指すねらいは何か。 イ 学校にどのように受け止められているか。 ウ 今後、学校にどのようにして定着させるのか。 少人数授業の現状と成果について 心の悩みを持った児童生徒、特に不登校の児童生徒への対応について 教職員の健康管理について ア 療養休暇を取っている教職員の人数を知りたい。 イ 教職員の健康管理をどのようにしているか。 ウ 労働基準法に定められた休憩、休憩時間は確保されているのか。
加藤なを子	3 子ども達の発達を保障する教育環境の整備について	・ 教育基本法の改正問題について	教育基本法改正問題についての見解を聞きたい。
		・ 30人以下学級の実現について	小学校において30人以下学級の実現をできるところから早急に図るべきと考えるが、教育委員会の考え方についてお聞きしたい。
		・ 小中学校の耐震補強工事について	体育館の耐震補強は校舎を終了してからではなく、校舎と並行してすすめるべきではないか。

		<ul style="list-style-type: none"> 学校給食の拡充について 	<p>学校給食の民間委託化について 西部学校給食合同調理場の対象校の直営自校化について</p>
諏訪 春雄	4 教育行政について	<ul style="list-style-type: none"> 2学期制の導入について 	<p>今後、全中学校への拡大、小学校への導入について、現時点での考え方を教えて欲しい。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> 絶対評価について 	<p>新聞報道記事をどのように受け止めたか。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> 学校の安全対策（耐震補強工事含む）について 	<p>小中学校の耐震補強工事及び耐震補強を含む大規模改修工事が前倒しされて始まるが、完了までの計画について伺いたい。 地域との連携を含め、どのように安全対策を進めているか。 女子中学生への防犯ブザーの配布は考えているか。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> P T Aについて 	<p>市内小・中学校におけるP T Aの組織率について P T Aが形骸化していると言われていたが、教育委員会はどのように考えているか。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> 青少年の健全育成について 	<p>青少年を取り巻く社会環境、有害環境をどのように捉えているのか。 健全育成に向けての諸施策も条例で罰則等を設けることが必要ではないか。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> 教師の指導力向上に向けて 	<p>学校教育ふじさわビジョンにも教師の指導力向上に向けての研修をうたっているが、具体的にどういう教師像を目指すのか。 主任制についての考え方、方向性について 校長の校長としての認識（自覚）をどのように持ち、権限を存分に発揮し、学校経営の活性化を図る道筋について、教育委員会はどうか。 新しい勤務評価システムが導入され、不適格教員の処遇はどうなるのか。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> 学校校務事務の見直しについて 	<p>教師の忙しさの原因は何か。 校務分掌の見直しの必要性があるのか、教育委員会としての考えを聞きたい。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> 中央教育審議会の教育基本法答申と学校教育ふじさわビジョンの整合性について 	<p>中央教育審議会の教育基本法答申と学校教育ふじさわビジョンの整合性について</p>
		<ul style="list-style-type: none"> 教科書採択地区の単独化について 	<p>教科書採択地区が単独化されるが、教育委員会の責任と権限についてどう考えるか。 教科書採択地区単独化に併せて、本市の教科書採択の方針と基準はどのようなものになるのか。</p>

		<ul style="list-style-type: none">学校給食について	<p>児童のアレルギーは原因物質やその割合によって個人個人の対応は異なると思いますが、学校給食においてはどのような原因物質が多いか。</p> <p>アレルギーを持つ児童の把握・確認はどのようにしているか。また、全市で何人ぐらいいるか。</p> <p>そのような児童には給食をどのように対応しているか。</p> <p>実施している中で問題点はあるか。</p> <p>12月議会の陳情の中にもあったが、米飯回数を増やすことによりアレルギー児童が減少するようにも言われているが、米飯回数を増やすことは考えているか。</p>
--	--	--	--